

6月12日：投資家の懸念が高まり下落か

ベトナム株は下落するまで待ちたいという投資家の懸念が増加し、下落する展開になると予想される。

ホーチミン取引所のVN指数は863.52ポイントで取引を終えた。

流動性が大きく増加。先週の平均出来高は5億8900万株で売買代金にして8.1兆ドンであった。

世界的な株式への売り圧力から、910ポイントの抵抗線を抜けることが出来なかった。直近は5週間連続で上昇していた。

木曜日に3.63%安の7週間ぶりの下落を記録した。米国の中央銀行の悲観的な経済見通しが売りのきっかけとなった。

一時は841ポイントまで下落する場面もあったが、押し目買いが入りやがて反発した。

指数は840-880ポイントのレンジで取引を終えたため、今週は売られる展開が予想されるとサイゴンハノイ証券は語った。

VN30指数先物は6月18日に満期を迎えるが、805ポイントで取引を終えた。現物は807.76ポイントで取引を終えていた。

先物と現物の先は投資家が先行きに不透明感を抱いていることを示している。

米国の中央銀行は水曜日に開かれた会合で、金利を据え置き、悲観的な経済見通しを発表した。

新型コロナ第二波への警戒感と米中貿易摩擦の再燃が市場心理に悪影響を与えた。

アナリストによると、新規の口座開設者たちがベトナム株を3月以降上昇させてきたとのことだった。

先週木曜日までには、VN指数は2年ぶりの安値の659.21ポイントから36.5%上昇し900ポイントを付けていた。

直近3か月で10万口座が開設され、3月4月にはそのうちの68,600口座が開設された。

国内投資家は新型コロナで大きく下落した銘柄に買いを入れたため、ベトナム株は上昇を続けた。

しかし、世界的な株式の下落を受けて、経験と知識不足から打撃を受けることとなった。

VN 指数が 900 ポイントを超えられなかったため、モメンタムが止まったと投資家は考えるようになった。そして大型株が売られたとアナリストは語った。

次に、投資家は米国の株式市場を確認し、米国市場への懸念が売りのきっかけとなったと同氏は語った。

米国株は金曜日には上昇し、売られた株を中心に買いが集まった。

個人の買いはバブルを意味するため、市場が持続的に上昇するためには下落する場面も必要だと語った。

メイバンクキムエンの Phan Dung Khanh 氏によると、経済の下落傾向を考えると直近 2.5 か月の上昇は行き過ぎだった。

下落トレンドも、長期的な上昇のためには必要だと同氏は語った。

個人投資家が売りに転じた場面で、外国人投資家は買い越した。先週 1 週間で 4185 億ドルを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。